

雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会
会議録（御明神小学校開催分）

平成 2 5 年 1 1 月 1 8 日

雫石町教育委員会

平成25年11月18日雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を開催した。

場 所 御明神小学校給食室

時 間 19時00分～20時05分

1. 出席者

一般住民 6人

2. 事務局から説明のために出席した職員

雫石町教育委員会教育委員長	上 野 宏
雫石町教育委員会教育委員	岩 持 斗季子
雫石町教育委員会教育長	吉 川 健 次
雫石町教育委員会学校教育課長	高 橋 啓 二
雫石町教育委員会学校教育課主査	田 辺 茂

3. 書 記

雫石町教育委員会学校教育課主任 坂 井 一 博

4. 開会宣言

田辺主査 それでは、雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を始めさせていただきます。まず初めに教育委員長から挨拶。

委員長 夜分お忙しい中、お集まりいただき大変ありがとうございます。各小学区での説明会は、今日が 6 回目、後半だがあまり認知されておらず、参加人数が少ないが色々ご意見いただければ。ご承知のとおり少子化の波が押し寄せ、雫石町の児童数も全国と同様、急激に減少。雫石町の小学生、昨年度は 852 名。平成 24 年度は、800 名弱、わずか 6 年後の平成 30 年は、700 名を切って 698 名。それに伴い、町内 10 小学校では複式学級が半分以上の 6 校に増加。複式学級は、2 学年以上の子供が一緒に活動。少人数で先生が目が行き届くとか、或いは和やかな雰囲気の中で活動できることもあるが、一方で沢山の仲間との活動で身につく社会性は育ちにくく、また色々な友達と学び合い磨き合い、多様な考えを身につけることが出来にくい。授業を見ると先生の直接指導の時間は、通常の半分。片方を教える時は、片方の学年は、自習や作業。集団での活動は、なかなか出来にくい。21 世紀の今、子供達に求められている能力は、特にも多くの仲間から色々な意見を聞き、自分の考えを作り、練り鍛えること。そうすると学校にもそれ相当の児童数を有する学級がどうしても必要。

そこで、町内の小学校を見直し、適正規模にと平成 24 年度に小学校適正配置検討委員会を設置し、2 月に提言書をいただいた。その提言書を踏まえて、教育委員会で 6 回ほど会議をし、検討した結果が本日の基本計画。私共は、子供達の学習環境をより良く整えることを第一に考えて、検討を重ねた。色々ご質問やご意見をいただき、基本計画をより良いものにしたい。

田辺主査 〔説明会参加の事務局の紹介〕

学教課長 本日は、中学校の御明神地区懇談会と重なり、ご参加いただく方が少なかつたかなと。こちらで改めてお詫び申し上げます。〔以下、基本計画の内容説明〕

田辺主査 ご質問、ご意見等を賜りたい。発言は挙手でお願いします。

参加者 ここが 6 ヶ所目ということで、これまでにどこを回られたか。気になるのは橋場小にも寄られたかというところ。各地区の様子など教えてもらえれば。

学教課長 先々週、雫石小を皮切りに七ツ森小、先週が西山地区で上長山小、下長山小、西根小を回った。全体的には、総論賛成、各論反対。使用する校舎が一番のネック。西山地区であれば、以前の西山中の辺りに新校舎を建て、そこに統合するなら賛成の方が恐らく多い。現時点で、新校舎は考えていない。どこか 1 校を使用して統合したい思いがあるが、地元から学校が無くなると、地域が衰退すると受け止められているので、なかなか上手く理解されず、難しいかなと考えていた。

参加者 参加人数は、どうだったか。やはり西山は多いか。

学教課長 西山は、多かった。雫石は、周知方法がまずかったこともあり、少なかった。セツ森小、下長山小は 20～30 人、上長山小も 30 人ぐらい。あとは西根小も 25～26 人。

参加者 こちらの一番少ない。30 名を超えないことは予想していたが……。検討委員会時、1 回目から学校の理事会に状況報告と、小学校のホームページにどういう議論が行われたかを、計 3 回載せていた。今年 3 月の PTA 送別会時には、まとまった資料も配った。その資料と提言内容と今回の資料でそれほど変わった部分はない。1 ヶ所変わったのは、西山地区の場所を決めたところで、だいたい予想通りの形になったかと。検討委員会時にも、恐らく検討委員会で場所を決めてもらおうという狙いはあったと思うが、決めるための客観的なデータの提出はされず、その 3 ヶ所でどこにするか。やはり、各学校の PTA も統合はやるということでもいいと思うが。西山地区を決めるとなると、もう少しきちんとした数字がないと難しい。

それはそれとして、西山地区の状況はどうなったかと。それで今後の予定、なるべく早く、どうせやるなら早くということ。せっかく委員として責任を持って意見交換をしたので、検討した意見や考えが古くならないうちにやった方がいい。それで 2 年後という意見も出たが、それではあまりに事務局が大変だろうということで 3 年間をおいて平成 28 年になった。例えば、この統合準備委員会は一斉に各地区で揃えるのか、それとも地区ごとか。

学教課長 できるところから進めた方がスムーズにいくかと。西山地区は、結構もめることも考えられ、こちらで強制して進めることも可能だが、そうすることはできない。

参加者 逆に他地区が凄いなと、プレッシャーをかけられるような感じがする。

学教課長 PTA 会長には、ホームページも更新していただいた。全部見ていた。そうやって周知していただいたことで本当に感謝している。

参加者 1 回目の検討委員会時に議事録はどうするかの話で、公表すると話されたということだが、何らかの方法でホームページに全部載せると、関係ない人から変なことを言われる恐れもあるかもしれない。役場に行けば、全部閲覧できるとかとしたらいいのでは。かなりの PTA 会長が、熱い思い、苦渋の思いで、本当は嫌でもやはり否定したくないところで、関わらなければならない。一番関心を持っているのが、各地域の人達だと思うので、記録として見るのが出来ればいいかと。それが進める時にも PTA はこう話していたと説得材料の一つになるのでは。

学教課長 逆に委員さんがどこの PTA か分からないように出していただきたい。

参加者 分かってもいいと思う。実は、1 回目にそういう形で出すと言って、大概分かった上で話をしている。隠しても構わないが。

参加者 御明神小の学校林は、橋場小と一緒に、そのメンバーはそれぞれの PTA 会長で、事務局も校長先生達。今年の学校林の総会で統合の話が出た。中には橋場小の前

PTA 会長もいて、絡んでいる人達がいたが、その中での影響は特になかった。木材は高くないが、そのために学校林をやっていたらいいなというような話は出た。

学教課長 御明神地区は学校林が一つでいいが、西山地区、御所地区だとそれぞれ 3 校とも全部別。学校林には教育委員会でこうしろとは言えない。管理者にお願いしたい。

参加者 他の地区では、親以外の人とは来ていたか。

学教課長 来ていた。特に西山地区では。上長山小は、むしろ親以外の人が多くいた。

参加者 西山地区だと児童数の増加は、上長山小と西根小だから難しい。その辺は整理しないと。

学教課長 使用する学校の部分は、やはり比較できる詳細データが欲しいと。

参加者 そのとおり。下長山小ありきの見方と捉えられてしまう。あと下長山小は、学区が下長山小でも結構子供達は雫石小に行っている。

学教課長 あと、雫石地区の陽和郷は、下長山小の学区。そういったこともあって、もし上長山小や西根小を使うとなれば、雫石小に指定校外の希望者が出る可能性はある。

参加者 雫石小から一番遠い学校は西根小か。

学教課長 おそらく。(※確認の結果、一番遠いのは上長山小だった。) あとは、一番古いのが西根小。

参加者 統合準備委員会は、平成 26 年度となっているが、早い方がいいのか。

学教課長 早ければ早いほどいい。色々作業しなければならない部分が出てくる。理解を得られれば、出来れば 4 月上旬から入っていきたい。複式解消は、本当に早く。延びれば延びるほど子供達が、快適な環境で授業を受けられない。

参加者 検討委員会でもここはかなり揉めたから。

学教課長 学力的には小規模校だから低いということはなく、差は全然ない。社会性を身につける部分では、複式学級だと決まった人間関係なので、その面が少し至らないかと。

参加者 御明神は、トイレが古い気がする。洋式はあるか。こちらの改善はあるか。

教育長 強い要望であれば。

岩持委員 職員室のすぐそばに。特別に作ったような気がする

坂井主任 職員室の辺り 1 ヶ所に男女それぞれ 1 つずつある。

学教課長 全部洋式にすると座りたくない子供もいるので、和式は必ず残しながら。

坂井主任 学校教育課でも予算要求等で要望はしている。そちらは段々にやっていく。

委員長 これから新たに何千万円と使っていくので。実現するかどうかは置いておいてもこの際、ここはこうしなければ駄目だという辺りをたくさんいただければ。

参加者 調理室の配管も。

参加者 あそこは配管が走っていて、一応、大丈夫になっているが安全を考えると。

学教課長 前は、逆に縦に 3cm ぐらい出ているものがあって、それは撤去した。ちょっと私も見て危ないと思った。かなり後から工事をしたようで、配管が外にある。

参加者 個人的な話で申し訳ないが、平成 30 年度にうちの下の子が入学予定だが、難聴。できればその時にきこえの教室を設けていただけるとありがたい。

学教課長 今、安庭に難聴児童がいる。特別支援学級を設置し、先生が入って指導。要望がある場合はこちらでも設置期限等あるので、その辺はご相談を受けます。

参加者 息子が今年中学校に入り、御明神小は、18 人でそれが 150 人ぐらいになった。1 クラス御明神からだ 3、4 人。御明神小の規模でも目は届いて、小さい学校は柔らかに育っている感じがするが、その分言葉に弱い部分もあった。小さい学校は凄くいいが、ある程度の人数で揉ませることも必要だし、中学校に行って特にそれが響いて来る。私は、統合することで子供達にとっていい環境になると思うので、頑張って進めてもらいたい。統合した場合は、やはり御明神のカラーや校歌とかは変わるかというあたりが気になる。

参加者 それは、統合準備委員会で検討する。

学教課長 たぶん名前は、御明神地区ですので変わらないと思うが、いずれ準備委員会で色々検討していただきたい。

参加者 あっという間の 3 年間。大変かと思うが子供達のためをお願いします。

参加者 校歌は、自分も歌ってきたので。でも、橋場小も同じ気持ちでしょうから。両方それぞれ。

参加者 双方が、納得いくような感じで統合できればいい。

学教課長 そのとおりだと思います。

参加者 第一校歌、第二校歌としてはいかがか。

参加者 そういう面で、今までの学校のものがなくなるのはかなりさびしいのでは。子供は、減るが増えない現象もある。みんなが納得する方向だと幸せになるかと。

学教課長 新しい校歌とすれば、吸収された感覚が出ない気もする。

田辺主査 たぶん違和感はない。他の部分を使うと上手くいなくなる。

委員長 何らかの形でメインの校歌と、別の形の校歌と。

岩持委員 今の校歌は昭和 20 年。結構古い。文語体は子供達には難しいかもしれない。

5. 閉会宣言

教育長 今日は、お忙しいところお集まりいただき、そして、前向きな建設的なご意見もいただきまして大変ありがとうございます。先ほどから話が出ているように、まとまったところから進め、平成 28 年 4 月は新しい学校を開校したい。子供達にとってよりよい教育環境にと思い、検討委員会から引き継いだ基本計画となった。ご理解をいただき、雫石町の子供達を育てて参りたい。今後ともよろしくご指導、

ご助言いただければありがたい。